

## 事業評価シート

事務事業名	学校生活支援員配置事業費	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	「確かな学力」を身に付けた子どもの育成	事業コード	4221

事業の目的	発達障害や語学力不足など教育上の特別な支援を要する児童生徒を指導する 教員を補助する職員を配置することにより、当該児童生徒の教育課程を支援する。			
事業の内容	生活支援を要する子どもへの支援員配置。			
事業の対象	町内小中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度予算
	金額	25,954 千円	24,298 千円	27,379 千円

事業の効果等	<p>児童生徒の安全確保・基本的生活習慣の確立・介助・語学指導等により、円滑な 学習活動が行われ、また、障害に対する理解促進が図られた。</p> <p>生活支援員の配置……17人(小学校10人、中学校7人)</p>			
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	通常学級に在籍する発達障害児童に対し、安定した学校生活を送れるように、適切な指導や支援を行うことができた。今後さらに増加すると思われる問題を抱える児童生徒について、母子障害福祉担当・教育委員会・医療機関等が連携し、支援が途切れることのないよう連携強化していきたい。また、職員研修等を行い特別支援教育の理解を深めるとともに、支援員の指導力向上をはかりたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	---	--------	-----------